

その他の
活動報告

研修センターの運営



研修参加者にとっての“もうひとつの我が家”

HIDAの研修センターは、東京(足立区)、関西(大阪市住吉区)の2箇所があり、講義等が行われる研修施設であると同時に研修生が生活する宿泊施設でもあります。慣れない国(日本)で暮らす研修生にとって、宗教や食事、生活習慣等の違いは大きな負担となりますが、これらの負担を軽減して彼らが快適に過ごせるよう、HIDAの研修センターはもう1つの我が家"Home Away From Home"としての役割を担っています。

例えば、食堂ではベジタリアンやイスラム教徒に配慮したメニューが用意されているほか、日替わりで各国のエスニックフード等も用意されています。また、フロントを置いて休日・夜間を含め研修生からの相談や緊急事態に対応している他、定期的に医療相談を実施する等により研修生の生活を支えています。



客室



教室



食堂

研修参加者の福利厚生行事

研修センターでは研修生のための福利厚生行事を、年間を通じて数多く行っており、年末年始の餅つきや初詣、盆踊り、節句・節分等の季節に関する行事を通じて、日本の文化や伝統に対して理解を深める機会を提供しています。

地域社会との異文化交流

盆踊り等の福利厚生行事を地元の町内会やボランティアの方々と共に実施する等、地域社会との交流も活発に行っており、このことは研修生が日本を理解するのに役立つだけでなく、地域の方々から彼らを知る貴重な機会にもなっています。

2015年度、フィリピン介護福祉士候補者は、近隣の高校を訪問し、授業見学や部活動体験を行いました。高校生と日本語での交流を行うことで、生きた日本語に触れ、実践的な会話力と運用力を高める機会になり、また、茶道・剣道・弓道・書道等の部活動を通し日本文化への理解を深める機会とすることができました。訪問後は、候補者自身が作成した日本語のお礼状を送付し、高校生は日本語会話ボランティアや茶道体験の協力を行う等、その後も交流が行われました。



高校訪問にて茶道を体験するフィリピンEPA介護福祉士候補者



研修センターにて実施した町内会の盆踊り

事例報告

事例報告



事例1

皮革製品現地生産化にむけた人材育成(エチオピアへの専門家派遣)

- ・企業名:株式会社ヒロキ
- ・業種:皮革・毛皮衣料・皮小物等の製造・販売
- ・制度利用概要

同社は、エチオピアシープを現地で鞣し染色した革を中国にて裁断縫製し完成品にしていたが、より大きな付加価値を持った良品作りの為に原産地での加工、生産体制の確立を目指し2013年にエチオピアに工場を設立しました。2015年度はエチオピアで完成品ができる体制を確立するため新興市場開拓人材育成支援事業の専門家派遣

制度を利用し、一般の皮革工場では加工が困難であるエチオピアシープの縫製技術、裁断技術、革すき技術に関する技術指導を行いました。

専門家による技術指導により、革衣料及びバッグ生産技術を身に付けた従業員が生産体制に加わり、裁断生産量、縫製生産量が拡大していくことが期待されます。



事例2

自動車裾野産業におけるサプライチェーンの拡充と省エネ化(メキシコからの研修生受入れ)

- ・企業名:七宝金型工業株式会社
- ・業種:ダイカスト金型設計製造
- ・制度利用概要

日系大手自動車メーカーの現地新工場の稼働に伴う日系企業における金型補修や金型加工に対する高いニーズを受け、同社はメキシコのグアナファト州に3社合同で合併企業を2015年に設立しました。金型新工場立ち上げにあたり、加工、組立、検査工程の管理監督者や生産管理の課長を、低炭素技術輸出促進人材育成支援事業の受入研修制度を利用し日本に招聘しました。

新工場立ち上げ要員の育成とともに、消費電力のロスに繋がる不良の防止ならびに省エネルギーを図る作業方法の研修を実施したことにより、不良発生低減による再加工(手直し)の時間短縮による省エネ化の実現を図っています。



事例3

超臨界圧発電システムによる現地の環境負荷軽減のための人材育成(インドからの研修生受入れ)

- ・企業名:株式会社東芝
- ・業種:重電機器
- ・制度利用概要

同社は、インドにおける火力発電事業の強化を目的に合併会社Toshiba JSW Power Systems Pvt. Ltd.を設立し、2014年に販売・エンジニアリング・設計・調達・製造・建設・サービスの一貫体制を構築しました。今後の受注獲得に向け日本の技術指導による「インド製」品質を維持し信頼性を確保するため、製造技術だけでなくエンジニアリング力を支える現地人材の育成のため低炭素技術輸出促進人材育成支援事業を利用し受入研修を実施

しました。

高効率超臨界圧火力発電システムのタービン発電機のエンジニアリング・生産管理・品質管理に必要な技術を研修生が習得することによって、現地ニーズに応じたエンジニアリング・製造が可能となり、また、発電効率の高い技術を有するシステム、プラントの供給は現地における環境負荷低減につながっています。



事例4

自動車裾野企業における生産プロセスの省エネ化のための人材育成(タイへの専門家派遣)

- ・企業名: 八田経編株式会社
- ・業種: 経編生地の開発・製造
- ・制度利用概要

同社は、国内主要顧客の要請を受け2013年にタイにSIAM HATTA CO., LTDを設立、2014年に工場を設立し、主に自動車用シート向け経編生地を製造しています。工場立ち上げ時に受入研修事業等を利用しリーダー候補者を研修した後、生産活動を開始、量産体制は軌道に乗せた後、2015年度、現地の技術力を向上させ省電力

化、コスト削減をめざし、低炭素技術輸出促進人材育成支援事業の専門家派遣制度を利用し現地において指導を行いました。

専門家の技術指導により、不良率削減、生産性向上が図られ、生産現場の省電力化につながっています。



事例5

看護・介護にかかわる外国人のための日本語スピーチコンテスト

2015年12月5日、HIDA東京研修センターにて開催されました。医療福祉現場への外国人受け入れが進む中、本コンテストは、これらの看護・介護に携わる外国人が意見や経験を述べる機会として2012年より始まり、今年で4回目の開催となりました。今回は、出場者10名のうち9名が経済連携協定(EPA)に基づき来日した看護師・介護福祉士候補者でした。彼らは日本全国の病院や施設で働きながら日本の国家試験の合格を目指していますが、母国を離れて働きながら語学と専門分野の学習を同時に続けることは並大抵のことではありません。HIDA

は、EPA訪日後研修の実施に携わっている団体として、彼らがどのように日々の業務に向き合っているか、彼らの目に日本の看護介護現場はどのように映っているのか等、彼らの思いを日本人に知ってほしいという思いも込めて、コンテストを開催しています。



事例6

HIDA/AOTS同窓会

同窓会は世界6地域でそれぞれ同窓会地域連合を結成し、定期的に会合を持ち、地域間協力活動を推進しています。2015年度は、インド・ケララで南アジアHIDA/AOTS同窓会連合会議、ミャンマー・ヤンゴンで東南アジアHIDA/AOTS同窓会連合会議が開催されました。また、フィリピン同窓会、タイ同窓会が50周年を、アルゼンチン同窓会は30周年を迎え記念式典が行われました。記念式典には、フィリピンではマニラ首都圏開発局元長官、タイでは観光・スポーツ大臣、アルゼンチンではブエノスアイレス証券取引所会長をはじめとする来賓の方々にご臨席頂き、祝辞を頂きました。

タイ同窓会



アルゼンチン同窓会



フィリピン同窓会



南アジアHIDA/AOTS同窓会連合会議



東南アジアHIDA/AOTS同窓会連合会議